

# 2006年3月期決算説明資料

5月18日

**NISSHINBO**

# 連結損益計算書

百万円

	2006.3	2005.3	前年同期比	増減率(%)	主な増減内容
売上高	278,616	243,421	+35,195	14.5	繊維増715、プレキ増3,823、紙増27、 化成品増1,807、エレクトロニクス増29,014、 不動産減 163、その他減 28
営業利益	10,524	9,651	+873	9.0	繊維増879、プレキ減 795、紙減 226、 化成品減 42、エレクトロニクス増657、不動産減 79、 その他増19、全社費用減461
経常利益	14,033	11,827	+2,205	18.7	受取利息・配当金増613 持分法投資利益増268(内アロカ264)
特別損益	5,785	1,035	+4,749		投資有価証券売却益増11,763 厚生年金基金代行返上益減 5,278 減損損失増 3,057、製品保証損失減884 連結調整勘定償却額減1,368
税引前利益	19,819	12,863	+6,955	54.1	
法人税等	7,438	5,038	2,400		
少数株主損益	( )1,198	(+)373	1,572		
当期純利益	11,182	8,199	+2,983	36.4	

# 貸借対照表比較

百万円

## (資産の部)

	2006.3	2005.3	増減	主な増減内容
棚卸資産	52,583	40,407	12,176	新規連結(新日本無線)による増14,884
有形固定資産	121,148	99,781	21,366	新規連結(新日本無線)による増21,923、取得16,420 償却 13,443、減損 5,414
無形固定資産	5,050	1,351	3,699	新規連結(新日本無線)による連結調整勘定増3,839
投資有価証券	185,051	122,811	62,240	評価差益増54,931

## (負債の部)

短期借入金<sup>1</sup>  
退職給付引当金  
繰延税金負債

	2006.3	2005.3	増減	主な増減内容
短期借入金 <sup>1</sup>	50,666	40,485	10,180	新規連結(新日本無線)による増9,677
退職給付引当金	28,622	15,036	13,585	新規連結(新日本無線)による増9,238
繰延税金負債	48,150	27,518	20,632	有価証券評価益増

1. 短期借入金には一年内返済の長期借入金を含む

## (資本の部)

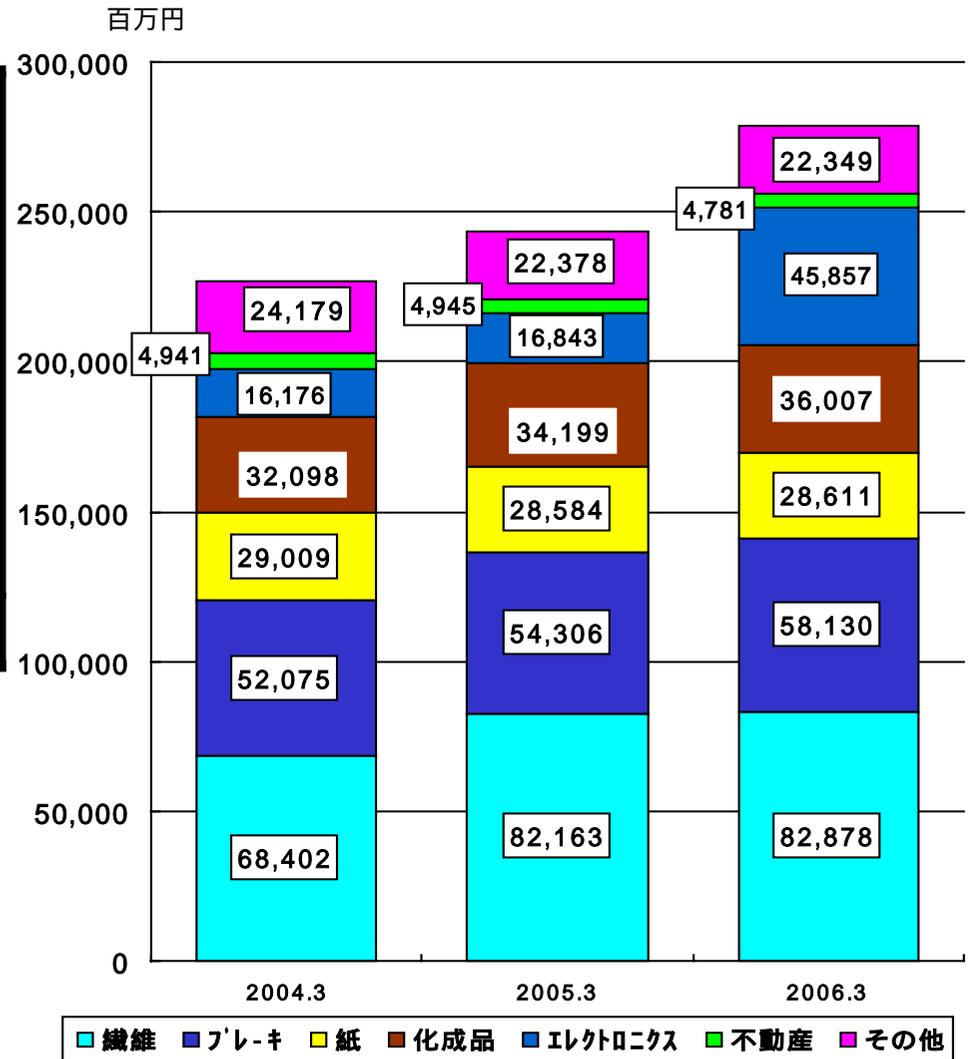
	2006.3	2005.3	増減	主な増減内容
	266,434	222,771	43,662	有価証券評価益増、利益増

有利子負債の額

	2006.3	2005.3	増減	主な増減内容
	63,553	53,039	10,514	新規連結(新日本無線)による増12,474

# セグメント別売上高

	2004.3	2005.3	2006.3
繊維	68,402	82,163	82,878
ブレーキ	52,075	54,306	58,130
紙	29,009	28,584	28,611
化成品	32,098	34,199	36,007
エレクトロニクス	16,176	16,843	45,857
不動産	4,941	4,945	4,781
その他	24,179	22,378	22,349
売上高計	226,882	243,421	278,616



繊維:新規連結(日清紡上海)、海外はブラジル日清紡他好調

ブレーキ:国内、海外での新規受注

ABSのコンテナベースへの移管進展

紙:家庭紙は製品価格低迷

洋紙はファインペーパー・合成紙好調

化成品:海外子会社好調

エレクトロニクス:新規連結(新日本無線)

不動産:賃貸物件減少

その他:メカトロ増収

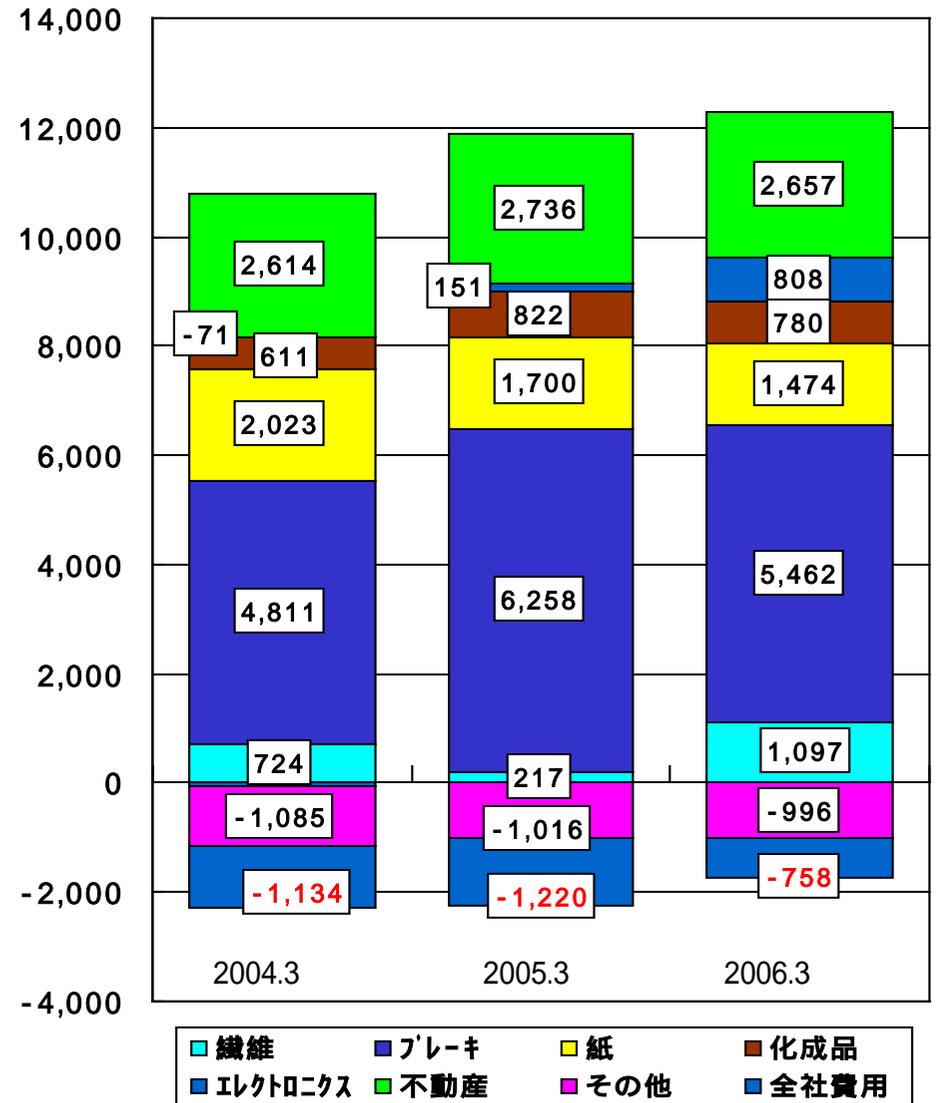
# セグメント別営業利益

百万円

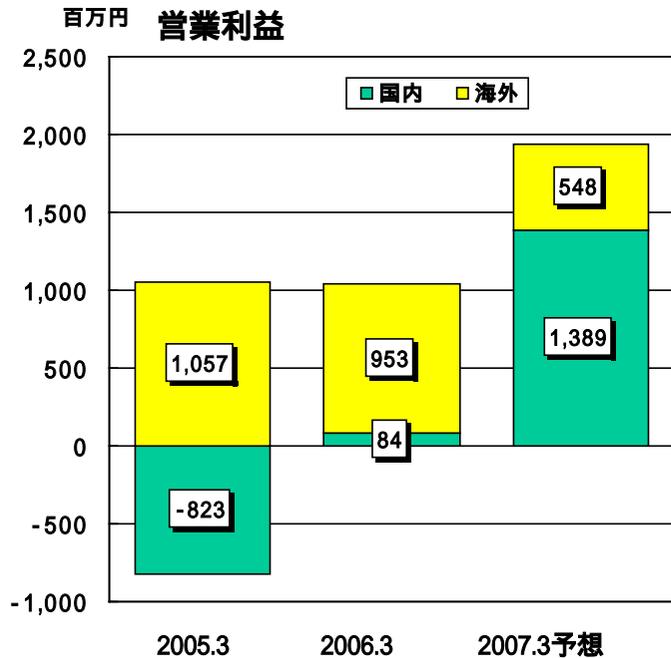
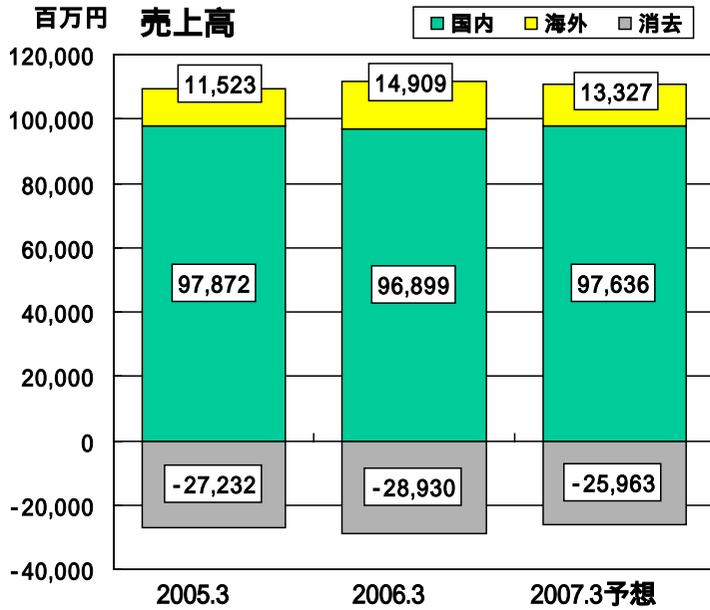
	2004.3	2005.3	2006.3
繊維	724	217	1,097
ブレーキ	4,811	6,258	5,462
紙	2,023	1,700	1,474
化成品	611	822	780
エレクトロニクス	71	151	808
不動産	2,614	2,736	2,657
その他	1,085	1,016	996
全社費用	1,134	1,220	758
営業利益計	8,495	9,651	10,524

- 繊維 : CHOYAグループの大幅な収益改善
- ブレーキ : 国内 原材料の高騰、海外子会社好調
- 紙 : 製品価格低迷
- 化成品: 海外子会社好調
- エレクトロニクス: 新規連結(新日本無線)
- 不動産: 安定収益
- その他: メカトロ増益、PDPフィルター事業撤退

百万円



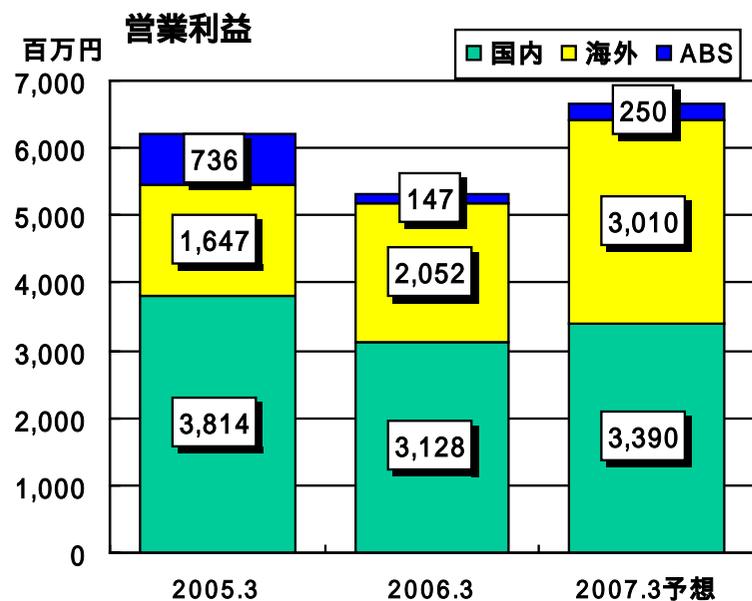
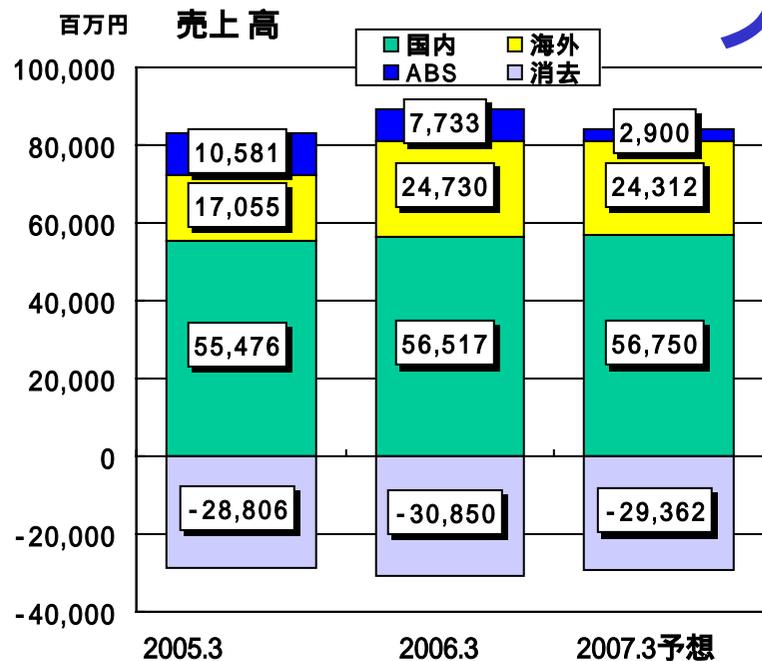
# 繊維事業



	2005年 3月期		2006年 3月期		次期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	56,373	233	55,288	185	56,000	940
CHOYA	11,233	1,144	11,849	50	11,980	190
その他 1	30,266	88	29,762	51	29,656	259
国内計	97,872	823	96,899	84	97,636	1,389
ブラジル日清紡	4,197	733	4,335	669	3,800	400
ギンテックス	3,223	78	3,532	114	3,300	66
ニカテックス	3,908	250	4,772	163	4,400	72
日清紡上海	-	-	2,021	4	1,594	6
P.T.ナイガイシャツ	195	4	249	3	233	4
海外計	11,523	1,057	14,909	953	13,327	548
小計	109,395	234	111,808	1,037	110,963	1,937
消去	27,232	17	28,930	60	25,963	37
合計	82,163	217	82,878	1,097	85,000	1,900

1. ニッポン・トーア、日新デニム他

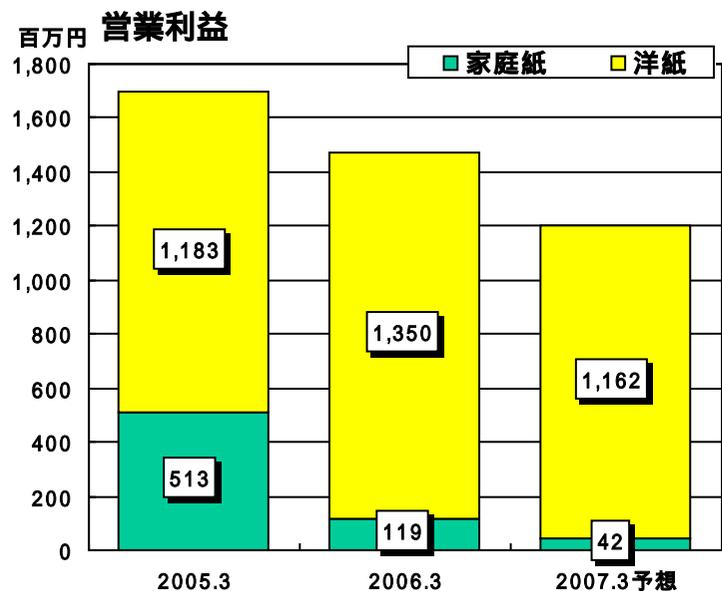
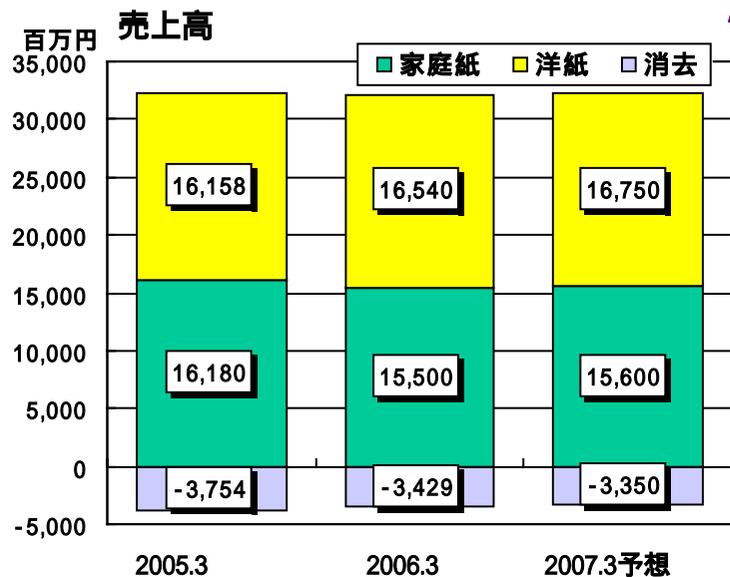
# ブレーキ事業



	2005年	3月期	2006年	3月期	次期	予想
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	28,481	3,668	29,059	2,986	29,040	3,200
その他 1	26,995	146	27,458	142	27,710	190
A B S	10,581	736	7,733	147	2,900	250
国内計	66,057	4,550	64,250	3,275	59,650	3,640
オートモーティブ*	5,789	12	8,571	113	8,371	778
ソンプーン	2,613	453	3,720	686	4,483	810
セロン	8,653	1,206	11,628	1,378	10,244	1,291
セロン北京	-	-	811	101	1,214	131
海外計	17,055	1,647	24,730	2,052	24,312	3,010
小計	83,112	6,197	88,980	5,327	83,962	6,650
消去	28,806	61	30,850	135	29,362	100
合計	54,306	6,258	58,130	5,462	54,600	6,750

1. 日清紡ブレーキ販売

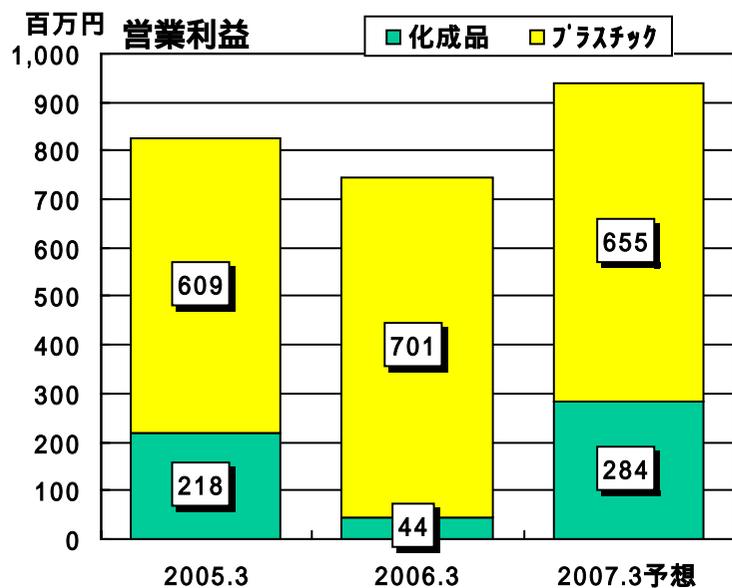
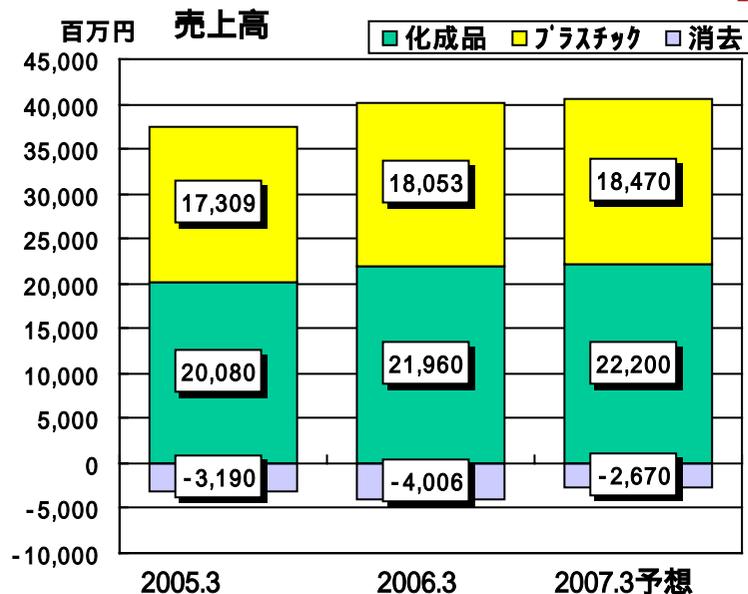
# 紙製品事業



	2005年 3月期		2006年 3月期		次期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	11,780	483	11,310	106	11,500	80
その他 1	4,400	30	4,190	13	4,100	38
家庭紙計	16,180	513	15,500	119	15,600	42
日清紡	11,359	1,206	11,818	1,249	11,770	1,070
その他 2	4,799	23	4,722	101	4,980	92
洋紙計	16,158	1,183	16,540	1,350	16,750	1,162
小計	32,338	1,696	32,040	1,469	32,350	1,204
消去	3,754	4	3,429	5	3,350	4
合計	28,584	1,700	28,611	1,474	29,000	1,200

1. 東海製紙他
2. 日本ポスタルフランカー

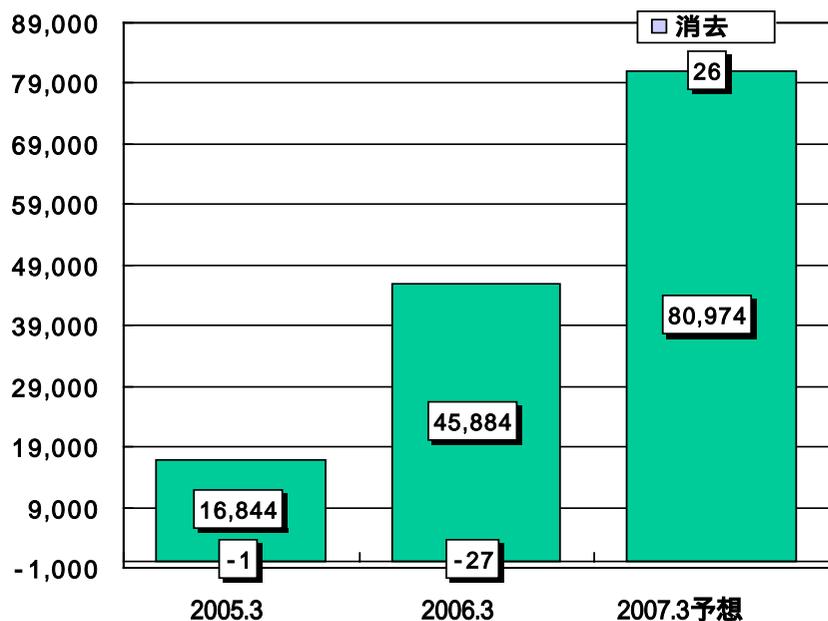
# 化成品事業



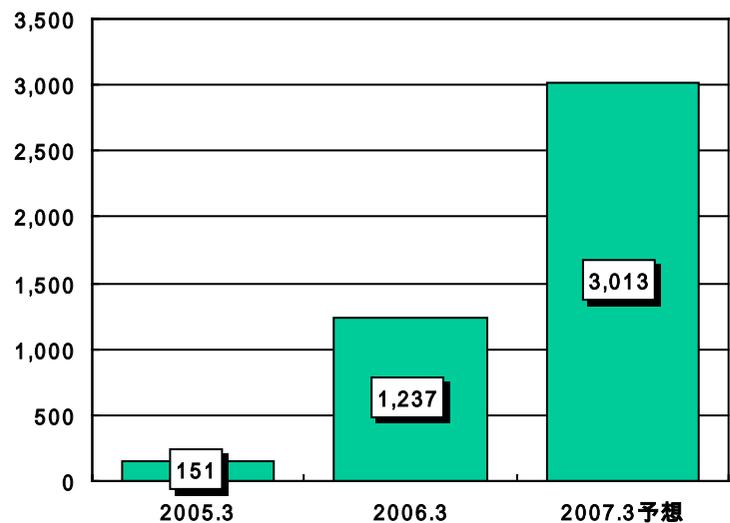
	2005年 3月期		2006年 3月期		次期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	9,984	94	10,652	112	9,883	115
その他 1	10,096	124	11,308	156	12,317	169
化成品計	20,080	218	21,960	44	22,200	284
日本高分子	10,048	51	9,321	2	9,200	6
タイ高分子	5,342	329	6,341	336	6,780	389
浦東高分子	1,919	229	2,391	363	2,490	260
プラスチック成型計	17,309	609	18,053	701	18,470	655
小計	37,389	827	40,013	745	40,670	939
消去	3,190	5	4,006	35	2,670	11
合計	34,199	822	36,007	780	38,000	950

1. 岩尾他

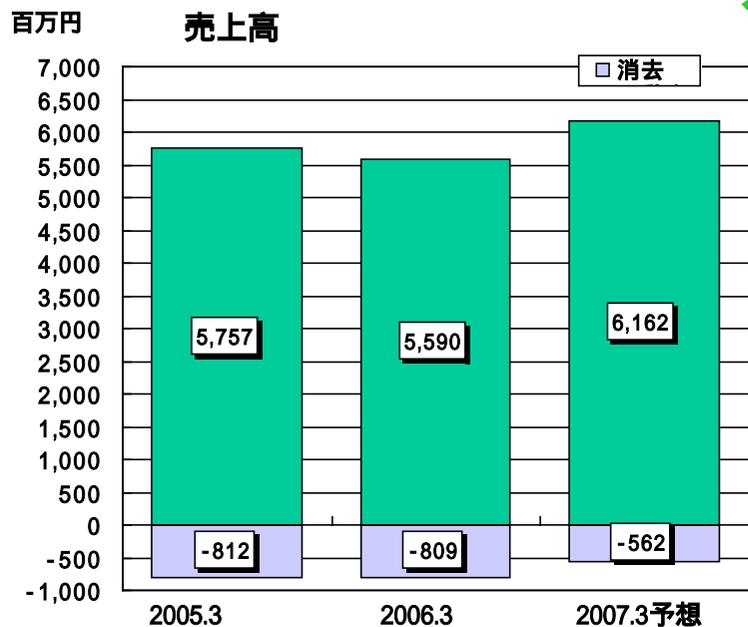
# エレクトロニクス事業



	2005年 3月期		2006年 3月期		次期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
新日本無線	-	-	30,654	917	64,474	2,852
上田日本無線	16,844	151	15,230	320	16,500	161
計	16,844	151	45,884	1,237	80,974	3,013
消去	1	-	27	429	26	813
合計	16,843	151	45,857	808	81,000	2,200

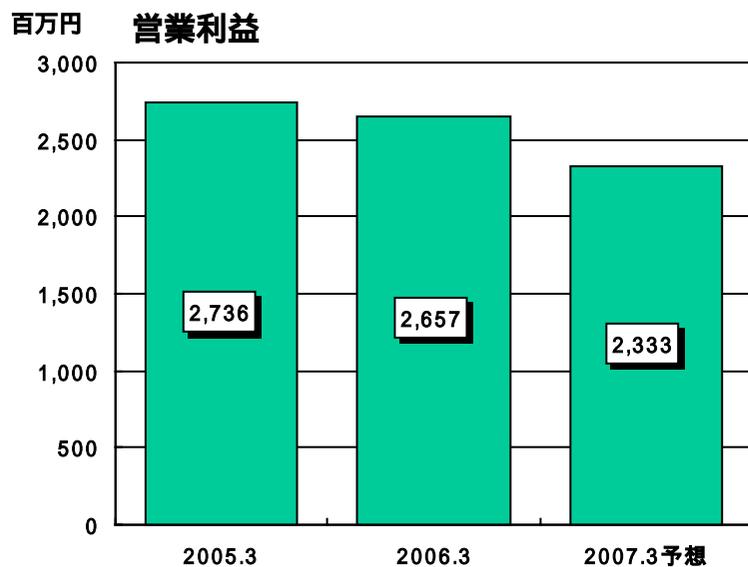


# 不動産事業

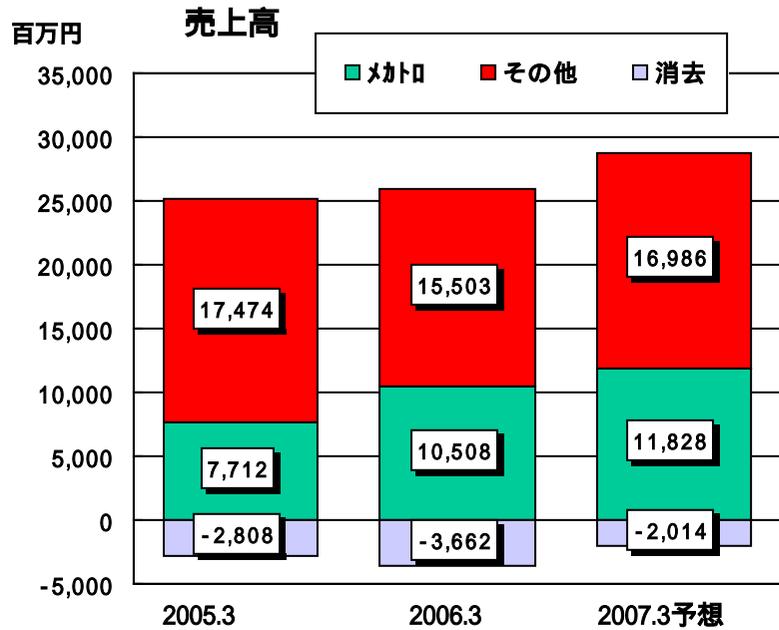


	2005年 3月期		2006年 3月期		次期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	3,692	2,303	3,657	2,250	3,807	1,999
その他 1	2,065	433	1,933	407	2,355	334
計	5,757	2,736	5,590	2,657	6,162	2,333
消去	812	-	809	-	562	33
合計	4,945	2,736	4,781	2,657	5,600	2,300

1. 日清紡都市開発他

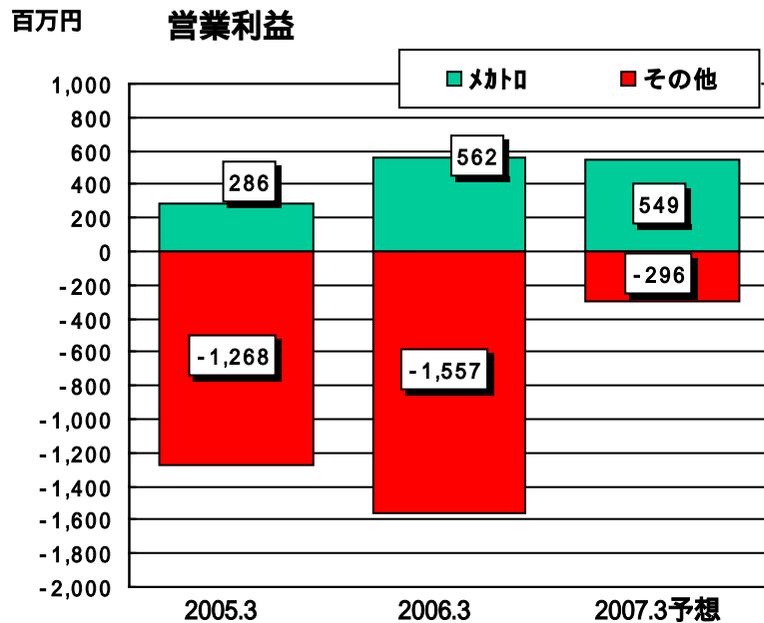


# その他事業



	2005年 3月期		2006年 3月期		次期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
メカトロニクス	7,712	286	10,508	562	11,828	549
その他部門 1	17,474	1,268	15,503	1,557	16,986	296
計	25,186	982	26,011	995	28,814	253
消去	2,808	34	3,662	1	2,014	72
合計	22,378	1,016	22,349	996	26,800	325

1. 新規事業他



# 次期予想

百万円

	2007.3予想	2006.3実績	増減
売上高	320,000	278,616	+41,384
営業利益	15,000	10,524	+4,476
経常利益	18,500	14,033	+4,467
当期純利益	9,000	11,182	2,182

前期半期分のみ連結した新日本無線の売上高が年間通して寄与するために増収、営業利益、経常利益は増益と予想。当期純利益は、前期計上した特別損益の特殊要因(投資有価証券売却益・減損損失)がなくなるため減益と予想。

- (売上高)  
海外子会社好調・新日本無線の売上高が年間を通して加わり増収
- (営業利益)  
海外子会社好調、CHOYA収益改善等から増益
- (経常利益)  
営業利益増から増益
- (当期純利益)  
特別損益の特殊要因(投資有価証券売却益・減損損失)がなくなり減益

売上高

百万円

	2007.3予想	2006.3実績	増減
繊維	85,000	82,878	+2,122
ブレーキ	54,600	58,130	3,530
紙	29,000	28,611	+389
化成品	38,000	36,007	+1,993
エレクトロニクス	81,000	45,857	+35,143
不動産	5,600	4,781	+819
その他	26,800	22,349	+4,451
売上高計	320,000	278,616	+41,384

営業利益

百万円

	2007.3予想	2006.3実績	増減
繊維	1,900	1,097	+803
ブレーキ	6,750	5,462	+1,288
紙	1,200	1,474	274
化成品	950	780	+170
エレクトロニクス	2,200	808	+1,392
不動産	2,300	2,657	357
その他	325	996	+1,321
全社	625	758	+133
営業利益計	15,000	10,524	+4,476

# 経営3カ年計画2008

(2007.3 ~ 2009.3)

## 経営基本方針

高い品質競争力を基盤として、高付加価値商品・差別化商品を継続的に上市する。

リードタイム短縮とクイックレスポンスによるCSファーストを徹底する。

他社とのコラボレーション(協業)を促進する。

海外展開を拡大し、適地生産・適地販売を加速する。

友好的なM&Aを推進する。

収益改善の見込みのない事業の整理・撤退を行う。

## 売上高 億円

	2007.3 計画	2008.3 計画	2009.3 計画
繊維	840	870	910
プレ - キ	540	560	590
紙	290	300	320
化成品	370	400	430
エレクトロニクス	850	860	940
不動産	50	60	70
その他	260	300	340
計	3,200	3,350	3,600

## 営業利益 億円

	2007.3 計画	2008.3 計画	2009.3 計画
繊維	18	26	31
プレ - キ	68	71	73
紙	12	17	19
化成品	9	15	18
エレクトロニクス	30	45	66
不動産	22	25	34
その他	9	1	9
計	150	200	250

## (繊維事業)



### ノンケアの特長

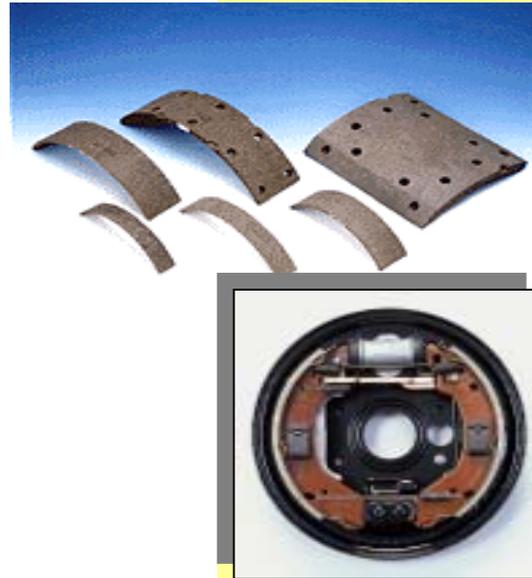
- ・洗濯後も干すだけで美しい仕上がり
- ・綿100%の上質な風合い
- ・縫い目の細かいシワも気にならない仕上がり
- ・一日中着用しても型崩れしない



日清紡SSPは、夢の革新技术「液体アンモニア加工」によって、綿をはじめとするすべてのセルロース繊維の性質を根本的に変化させ、さらに、縫製の後にノーアイロンレベルの形態安定性を持たせるポストキュアの手法を採用することにより、高度の形態安定性を付与したノーアイロン製品です。

## 当社製品(1)

### (ブレーキ製品)



### ブレーキライニング & アッセンブリー

ドラムブレーキ用の摩擦材であるブレーキライニングは、軽自動車から大型トラック・バスまで幅広く採用されています。信頼できる制動力と、様々な条件下での性能安定性や耐久性を持ち、皆様の安全をサポートしています。



### ディスクパッド & アッセンブリー

ディスクブレーキに装着される摩擦材であるディスクパッドは、普通乗用車をはじめ、軽自動車、スポーツカー、トラックなどの大型車用まで幅広いラインナップをそろえています。優れた制動力と心地よい制動フィーリング、また様々な条件下での性能安定性や耐久性も実現しています。

(ABS製品)

# 当社製品(2)



## アンチロック・ブレーキ・システム

ABSを装着することにより、雨天時や雪道、悪路などで急ブレーキをかけた場合でも、車輪のロックを防止し、スピンせずにハンドル操作ができるため、安定した制動・停止をすることができます。



## エレクトロニック・スタビリティコントロール(ESP)

エレクトロニック・スタビリティコントロール(ESP)は、すべりやすい路面で自動車のハンドルをきっても、安定した走りを得るために開発された最新のシステムです。

(紙製品)



## 家庭紙の豊富な商品バリエーション



毎日のシャワートイレをもっと快適にするトイレットティシュ



## コットンから生まれた やわらかティシュ 「コットンフィール」

自然の恵みの中で育ったピュアコットンをミックス。

いままでないやさしさとやわらかなフィーリングに仕上げました。赤ちゃんからご年配の方まで、安心してお使いいただけます。



## ファインペーパー

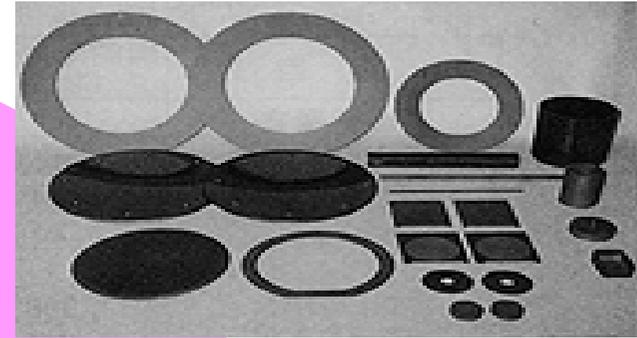
高級感のある上質な風合いと高度な印刷適性をそなえた高級印刷用紙です。書籍、ポスター・カタログ・カレンダー、ステーションナリーなどに使用されています。

# 当社製品(3)

(化成品)



「エアライトフォーム」のブランドでおなじみの当社硬質ウレタンフォームは、お客様の要望に応じ、いろいろな形で販売しております。「エアライトフォーム」は、その優れた断熱性を生かし、冷凍船・冷凍コンテナ等のコールドチェーン関連、LNG、LPGの超低温プラント関連及び住宅設備、建築関連に使用されています。又、断熱材分野以外にも、土木分野、合成木材、スポーツ用品等、幅広い用途があります。



ガラス状カーボン

独自の技術で開発したガラス状(アモルファス)カーボンは、従来の炭素材料と異なり、気孔のない緻密な等方性組織が特徴です。



モピロンは、弊社独自の技術で開発した熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)です。テープやコード状など多様な形状に成形可能です。



クロス・フロー・ファン

プラスチックファン業界においてはNo.1シェアを誇っておりますが、その最大の要因は回転体技術であります。空体力学を駆使して風量、風圧、騒音、回転数など、バランスのとれた性能を実現しております。

# 当社製品(4)



## 電気二重層キャパシター

高温から低温まで、幅広い温度条件に対応可能

日清紡・電気二重層キャパシターは、実装性に優れた角型構造を採用。従来の円筒形のキャパシターに比べ、大幅な省スペース設計が可能になりました

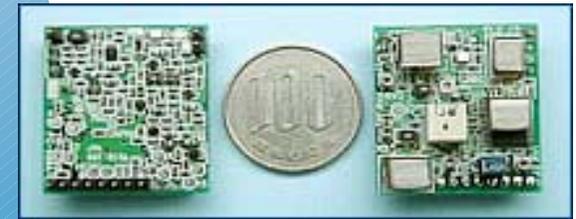
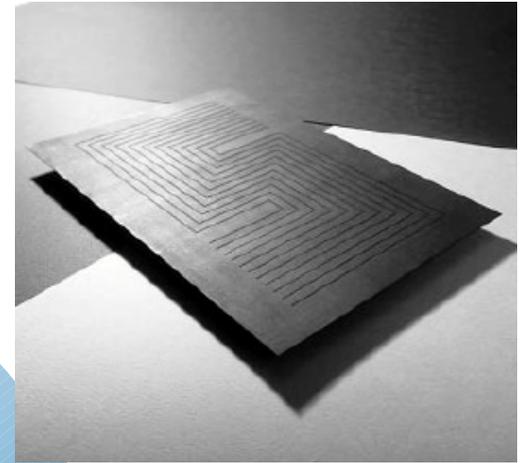
## (メカトロニクス)



ソーラーバッテリー製造設備

## 燃料電池用セパレーター

水の電気分解とは逆に、水素と酸素を結合させて水をつくることで電気を起こす「燃料電池」。燃料電池の種類はいくつかありますが、燃料電池事業部では、固体高分子型燃料電池の心臓部にあたるカーボンセパレーターを開発し、量産を開始しています。



## (エレクトロニクス)



自動通報装置 / 双方向デジタル伝送装置

## 双方向無線モジュール



超音波膜厚計 LU-200